

# 「大始良中学校の大始良西方棒踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

鹿屋市立大始良中学校

## 2 学年・人数

1年生（計12人）

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

令和5年9月～11月 総合的な学習の時間（本校武道館）

令和5年11月1日（水）文化祭りハーサル（本校体育館）

### (2) 発表の日時・場所

令和5年11月2日（木）文化祭（本校体育館）

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

### (1) 名称

大始良西方棒踊り（おおあいらにしかたぼうおどり）

### (2) 由来

「大始良西方棒踊り」は、江戸時代に現在の鹿児島市谷山から大始良村に移住してきた多くの方々によって、大始良村の守り神であった岩戸神社の神に五穀豊穰・疫病退治・家内安全を祈念するために始められた。

### (3) 構成等

当初は六尺棒だけの踊りだけであったが、時代が移りゆく中で、踊りをおもしろく変化をもたせ、現在では虚無僧を加え、3人が一組となって踊る『虚無僧踊り』と、六尺棒と太刀のスピード感いっぱいの勇壮な踊りの『松島踊り』の2種類の棒踊りがある。

## 5 保存会や地域との連携の具体

地域に根ざした「郷土教育の充実」の一環として、令和3年度から保存会の方々の協力を得ながら、教育資源として大始良西方棒踊りを伝承し、教育活動として取り組んでいる。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながら「大始良西方棒踊り」を継承していくために、総合的な学習の時間の学習内容「郷土学習」に棒踊りを組み込み、文化祭で発表できるように、計画を立てて、継承活動を行っている。

また、地域での保存会メンバーの練習に、教職員も参加して踊りを学び、学校での練習時、保存会メンバーの指導の補助を行った。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【練習風景】



【文化祭での発表】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【1年生生徒】

- ・ 踊りを初めて体験しました。保存会の方々の教で、楽しく活動できました。
- ・ 棒踊りはとても複雑な動きで、音楽に合わせて踊るのも大変でしたが、いい経験になりました。
- ・ 私は、虚無僧という役をしました。とても難しい踊りでしたが、練習を重ねることで段々上手にできるようになり、嬉しかったです。
- ・ 文化祭での発表は、衣装も身につけ、楽しく踊ることができました。
- ・ 地元の郷土芸能に触れることができ、感動しました。これからも後輩たちに受け継いでいきたいと思いました。
- ・ みんなで楽しく踊ることができました。保存会の方々にたくさん教えてもらいました。歴史や踊りに込められた想いも学べてよかったです。

### 【教職員】

今回、文化祭での披露に向けて、1年生12人で「大始良西方棒踊り」に取り組みました。大始良西方棒踊り保存会の方々が、棒踊りの起源や目的の説明、また実際に踊りながら丁寧にご指導くださいました。生徒と共に棒踊りを体験し、改めて郷土芸能の面白さや魅力について知る、非常に貴重な機会となりました。この魅力ある郷土芸能がこの先も受け継がれるよう、生徒と共に更に深く触れていきたいと思ひます。

### 【保存会から】

大始良中学校の地域伝統文化継承として、大始良西方棒踊りを取り入れていただき、本当に感謝申し上げます。大始良中学校の文化祭で、1年生に踊りを発表してもらうのは、今年で3年目となり、練習指導のご連絡をいただき、大変嬉しく思ひました。今年12人中、女子生徒6人、男子生徒6人が希望をし、本番までの練習も楽しく指導することができました。今後も、生徒たちには地域の伝統文化に触れることで、ふるさと愛を深めてほしいと思ひます。